解説練所を新設、廿一日これ

国侯ル

野風冷局長、小林交猟局長、小林・遼東したが、この日飛行場には大 時に標悟に情報味から次ぎの如く原規第一飛行場瑙、完善天城、同

京成第一飛行場で到着、査察促は

条曲】

錬成道場も訪問

で些かもあってあない半島青年

伊北部をも狙

L

家芸」で、大日春間一、寒寒三塚、大日春間一

英、伯林、パリ空襲

温泉とドイツ軍権会社

質な海域が消げられ

-總監、平壊から鎭南浦へ

殿誓官、古市京城府武、渡州京都

整通一元以上 百年後四時十分

逸狀況在祭のため山下行政在祭前 にて出致、本世二日午後四時廿分にて出致、本世二日午後四時廿分

船和運動型長 納資 雅友

声積 出 秀三

(神) 会

情報課發表關係遊園

で 原的
順力 増强
に 放闘する 半局の ・軍で 機管官邸 に入った

行きの人入城

◇蘭 舜

大器羅門 山下墨三郎

山下行政查察使

迎へる、待つまもなく一行の搭乗

北上部隊猛攻擊 平 汽 地 南部防衛線瓦解

を配して同地島に晃起込死の抵抗を続けたが、この影響も弦どわが海蛇の様式と蹂躙せられ、インバ 【※原管語】インバール要塞線モイラン南方の陰路口を死場する頑敵を 温屋し、これに立直りの厳密治與ヘデー系にモイランに突人、ベトントーチカ群に違って抵抗す 七の二種後にわたり息をもつがさぬ認文版によって後に同愿路口を突破、霧崩を打って資走する は日印画開館がモイラン監路口に沿る均需は三頭腕を中心とする兵力約一萬に米酸の重砲、戦車

ピルマ〇〇基地廿二日同盟 本

に印度奥地にあつた戦闘機を急 照嗣機を配加しでブーコン地區

廿一日愛」コレマ四方「キロの四」 無疑された英常四世間は次第に吸引されてある ル平地南の防衛級は遂に元熊を遂げ北方および東方とうするわが憲政と和侯のてインバール平地に 頑敵、遂に潰亂 ゴヒマ西北に戦果擴大 わび続きとり送に治量状態と略 一四北方高地によって顽強に抵抗 は敗隊を追って職果を観光一部は 〇方面より行動を起した有力部隊 する敵を猛攻中であるが、一方〇 地にまみれた英空軍の顔楽に代つ 年初頭以來在印米空軍の反攻は日

八一高地による旅館長売雅の歌約一り、同高地質上を歌取したわが重。ズエブ北方十十日、附近において一日渡」コヒマ門の「キロの町」 お別語語により著い信息別級区地 は十五日夕歌、ゲケクレマ(チェー) (高級にその勢力を増大したが、

って在支米空軍の活動を積極活機 が日本本土を空襲せんとする不遇 ならしめ支那大陸を基地としてわ ならびに経路を確保することによ なる野望の現はれにほかならない

> とによって関ロ をつぶけてあるシ

中部



敵、焼夷カード撒布 定する敵を急退して見下階で

ハール 主頭地の 歌談によって動

日後、パソル前面の姿態デクノ

||同盟|| 我 | 人道的行機を行ってわが恒に抵抗 オ河の部乳を嫩暖し、またイギリ し、十九日に至って敵はロクテア ス容電がかってドイツにはら振い ると解へられマンチエスター・カ 同盟」東南アジャ反艦執営局は印 從軍記者怒る **検閲強化に英 しりスポ** ン廿一日

火砲の振躍のも一である

と反像し來つた有力な政と交成中

トワ占領

重要遊転ベレトワを完全に占領、日午後四時からカラダン河谷の政

関の記録を表現している。 開催されたが、廿

した、主なる新内閣の原郷れは次 大阪家代表から成る新内閣を組織

りで言意まプラジルのアメリカ軍

イギリスから租借してゐる基地の

同盟」フィラデル 郷國際労働宣説は

アルゼンテン代表の輸出し案を提

の相・サルヴァトーレス・アル ライシラ 曜相 タテラ・ラルランド(部 曜相 ギ・コールラン(留任) 空相 サンダッ(留任)

伯 タデヲ・ヲルランド(留・ウィーシア)

また駐南米各國の海軍士官をアナ

スで訓練すべしどの動音楽を

勤する依然たる支配

で飲の攻略は依然嫌然であり、カ

敵機識別のため

爆音を把握せよ

機

し、かつ野心を駆す

が朱벨、内七樹を騰墜、同日チョ 八機、TBFナー機、原職機七機 サルヴァトーレス・アル

日の資識において中南米労働組

を示してあるといはれる 出、早くも一波線を推言館で形勢 ント・トレダノは突然同意遥から 合照盟議長だるメキシコ人ピンセ

「リスポン廿一日同盟」イタリヤ

バドリオ新内閣成る

「リスボン廿一日同盟」アメリカ

下院で、一学ヤーテルは廿一

不同政府に保護開発を撤騰せよ

1に言う來郷したが、「概を膨胀したでは十二日流回線十線が來迎、では十二日流回線十線が來迎、

職隊の一部も含ま

こして高力なもので

日ケイ諸島に南四級大戦飛行紙十

金田女」田景徳本台金田女」田景徳本台金田女」田景徳本台金田女」田景徳本台金田女」田景徳本台金田女」田景徳本台金田女」田景徳本台金田女」田景徳本台金田女」田景徳本台金田女」田景徳本台本田女」田東田女本田女」田東田本台本田女」田東田本台本田女」田東田本台本田本会本田本台本田本台本田本台本田本台本田本台本田本台本田本台本田本台本田本台本田本会</

アラフラ海方面

ストツクホルム廿一日同盟」ロ

その随答を一新して次第にその影 増加し、加ふるに重慶会理も漸く れて新次昆明から成都にその中心 感を移動し來るといもに、その機 を移し、今や四川省地區にその本 アメリカンBな砂液を主傷とし 明報も急速に低地され

印緬支連絡に躍起

英に代り米空軍増强

なはら米空国版図除はノース

がある。これに剪しビルマ方面陸 の輸送力を割かざるを得ない援助

メレヨンに甘三機

本業 敵機來襲頻り

北方の天候漸く

回復

光本の動を記し

十歲來數、一機を緊壓、十七日朝

の無疑と、わが監

配ならびに撮影してあるのと見しなる感覚をハンけてあるのである は成都附近に数ケ所の飛行場を開

實難(魔滅)を爆碎 陸鷲引續き陝西進攻

のが所在部隊はこれと交戦戦退し ヨン腊島に激ノースアメリカンP 四般爆撃機廿三機が來増したが、

の戦害即と戦が、戦の航空戦力を一蹶をあって、陝門帝宣節の 聖観戦 「南西太帝帝 〇の寿道 廿 百同一郎の北際は歌に応じて原理派を趙 時十五分また / 歌歌戦官の大阪 タラカンにも四日後、野歌しろ、みるが、廿 1日年登一 た、わずみ歌歌歌 盟」廿一日午前カロリン語語メレ 【中部太平洋(OC基地 廿]日同

況戰間週 ◆原発症 原空 务

常に先献文献を敢行

を整複の新 北方方面 胃盂、盂

上火器をあつて十四日一窓を撃墜一二徳を撃墜、カロリン諸島メレ 原日の復聞、 天候は漸く回復に向ひ殿戒を要す って平局に次 **米廻した欧洲に到し地**

は依然製物である。 ギニヤ方面

大なる配化なく、

甘力遠、ナル日歌とした、わが方数aggaw その他、大具種CBM が任部派はこれを遊響し十種を取り







数・滑走路に全職を命中せしめて一級地行場(雕形線の是四端)を空 パドリカ これを徹底的に爆解し、全被悠々

迫り來るピルマ方面の雨別を前に られ、その数百を超えるであらう

機が攻略を加へて來たが、わが所 ラパウルに割し酸職機連合二百七 【ラベウルサー日同盟】廿日設間 ラバウルに二百七機來襲 盟】廿日夜から廿一日天明にかけ

の点版部隊に対する物質網給をは一

の職大された戦局の名方面にそ

の増大を闘ってあるが北部ビルマ CWは最大能力を禁げて輸送団

ラカン(パリツクババン北方約三・指摘)て次の弾り試験した

接グツグは廿一日朝日間の困難を 「リスポン甘、日同田」ニューラ

米作戰部次長黎音

際はこれを説明、空観によりで

太平洋方面に沿いてアメリカ軍

逐した、十五日マーシャル諸島來襲したが一機を膨墜、他を撃 四UB25、士公後來與、二複縣

災を生ぜしめ、激化し來つた酸機 簡単の敵機関を攻戦、三ケ所に火

八機が来選、その一機を緊逐した 中部太平洋方面

平三茂、下四リ九機來與一機を

ウオツゼ島に十六日戦機連合約六



· 专题 元、 東京·大阪 第 年 化 學 前 完 阴射性 光代强店 伊藤 英林 式 企 社 京城 文 店

1 【00倍超】路窗00部级度级数1 表94的形式/关于一月八日南方21表94的形式/关于一月八日南方21表94的形式/新疆、建设山本岭域(聚设计设置外部支外面) 街を激散した宮廿一日競裘した TO GH II OS NHO SU2NH2

C6 H II OS NHO SU2NH2

A1 法様 学 化 会立しめたる前期にしてスペス

本典 ※ II SE TOOM ※ SOOM ※ ネオポンジー 火 1.38 婦人疾患儿

ス、緊然性一変をそれへ、 は自身刻アルジエー沖水 は自身刻アルジエー沖水 は自身刻アルジエー沖水 は高三風噌、八千幡敷棚油 に変が開いた。

十一時間とドイツ軍

五隻擊沈破 東南部を空襲した部分

説

ジガルル 4

年国への第一歩を印した、直ちに

りの獣の後、総督府芸廻しの自助

に誤察し第三日の立一日は八時宿

に機能を排らす日前、三級、理的 ※順した後、見こ日本の生産的 つある各種重要工場の質問を具る 音を中核として軍官民一致協力

決成生職に堂々巨歩を推し進めつ

をついた山下直察使は元氣一ばい の設備、茶色の中折所にステッキ 飛行場上密を一旋回して暗匝、紺

関極工場に到る、林次長の窓内で

識示を與く、午前十段五分東海

ストツクホルム廿一日同胞スー

獨、上陸戰近しご觀測

カンデナビヤ連信社が甘一自体へ

見られる

数する上陸市心使用されるもの

際が釧箱したといはれるが、 れば、イタリヤ南部戦線に赤軍部

からのトランス・ラジオ国報によ 「リスポン廿一日同盟」ロンドン 亦軍、伊戦線到着か

ハル港空襲

初茨を浴ながら工場を順数、同十

項の報告を受け、紙港では田

次の如くが削してゐるといはれる るところに依ればドイツ車省局筋

大気が

また他の意味は廿一日 空機数ケ所に大火災を は学頭力なドイツ空軍 十一日同盟コドイツ軍

名譽の戰死

西爾に街する反隔軸出の上空は

に差迫つてをり、ドイツ盟司

関所し、これが製用による軍 のであらう。恐らく大東部隊争が が正成立に光暗める際出を別むる かとしてある。わからの感慨や切の観然寄年特別線成所の修了者中現 一旦概を引くものであり、またわ

将來日本國民の經過忘るべからさ、たるの英語を繋成するにある。 る歴史的研究となるであらう如く

言が順兵。なる言葉も國民の解注 練を施すといる。その目的は政務 概医版にもある如く心身の破壊で

から励じて消え去らぬ不波の記述 の他の脳線を施し、以て景國軍人の影響所総所の 別録成所に資在士一萬に違する半

といる。しかし本質にいって特別 が、その成績は比較的良好である 館出了に対して訓練を施してある 殿みがある。この意味において町・壁下のボナとして立脈なる軍人た技脈網の修得の完全を加し得ないいても是國臣民である以上は

機成所は精和の事情からして夜部 して俟つべきものがあらう。 脱酸によって衝撃らんとの怠慢をもつべきである。

勿識・國民意識の昂揚、國語や書いふことは蔣原は自己のためであ 金融の部間に設置されてある特にはたとへての加線期間が位か四十上の光楽に微微し、大代の比丁に親しく主義する一行の今回の行動 日間とはいへ、その効果は遠し期一自ら霊験するの気紙を以って軍人 金受け、入意しても決して恥かし でるべき比丁に占っても現役節

となると相談ないのである。

その応願兵訓練所が今年より世

重務機能訓練所に専用されるので

無、彼の激養、並に規能脈無に大いり、この拡大なる脳音といるべき ・十分協力しなければならない。 に望む さ言に政府より大陸内地間の巡 山下查察使

きいのである。際に内地を主軸と であるが、同海峡の回防上、細路 問題なる閣職知識と非凡なる把握 察に多大の規符をかけたい。山下 氏は人も知る海派人である。その

力は必ずや陰路打開の方向に力強

前の壯丁に劉し五洲線をなすこと

勝に半周西年は初めて兵となる無

右政重義旭の宣格においてこれを たらんとするところがなくてなな て特には遊送きものを感する。勢 いても最適臣民である以上は 馬液酸は一衣物水なる管理によっ は、われら大陸に在るものにとつ れたことがあるが、青国連絡と異

一 大きな解説が存することも高人の に代職士を明徴に派遣、これを するに足るといへよう。この意味 意の理解となりつくあることを置 察せしめた。議覧側の重大なる関 認めるところである。 らぬ。しから現底にはこの一點に る能力を最大限度に凝細すべきは 質面する最大の跳場といはねばな 輸送及び頭紙の壁上輸送が負荷す 一家特政治館も去る藤密閉館中特 と激励し、次いで生徒自五十名の 勝力、智力ともに内地人に伍し一時半すぎ宿舎湯温泉館に入った

堀木鎌三氏起用

自動車局長 佐藤 炎作機運輸通信省自動車局長

南部戦線に赤軍苦戦す

加拉州局 美荷园 的复数 社

热笼

「ストックホルム廿一日同盟」コー中京監を必死になって阻止したの

セバストポリ攻圍戦は長期化

UPモスコー特派哲ギルモアの報

のドイツ里反撃はいよく、政化、 ペリからヤツスイに至る南

道によれば、スタニスラウ市(テ

スタニスラウ東南でドイツ軍の大 日の戦況公報によれば赤垣は依然 と落してゐるが、ソ聯情報局廿一 ち巻に作成上の主頭機を説回した

兵力を選へて激戦を展開、悪臓苔

に米英田広新観部隊を集結して

開始するものと見てゐる、

鐵道總局長官後任決る

局部内人事の心新を行ふこととな 東京電話」頭頭音では異面線道 管に朝用、その後代には炎通 長国の大昌昇格を脱乙級道施

相兵太郎氏を自動車局長に、佐藤 には別大概高長を、変を感覚し 理事小成俊夫氏を、練絡局長 鐵道路同差獨局長

行命するとともに右に伴う説動を 動車局長を大統局長にそれぐ 現論気息短診流域(こ)見知器氏 观

堀木 神の記 鎌二

任國的官(二)命政治總局是官人 **以級工事追溯所長 澤山瀛一**

建筑器局被装局及 平山

グは、過去、四十八時間にわたりの ロイター通信モスコー配者キン

るドイツ軍の反響はさらに同市南

でバストボリ微闘術く長期攻略

に移つた模様で、廿一日の地上

高 血壓 アンブル中三、000単位

ん息・神經痛 今津化學研究所 中 風 用服的 シニビ 入ルプンアナ 円五世 医一



の製造増配に出って東奥物体型のメーカーとの技術製造により影響の、質的を中心とする重要都製「に推動することになったが、内地

重要機械の發註を一元化

素材物動を製品物動へ改變、

際に飛頭的に導入してあるが現一

技術の向上の代と見込生動

院機能し午後五時後暫した 一個路をなす情節、資材等につき協

てある

得ないとて成素に興味がかけられ

になる仕組みである。尚自六千國の叛軍保險に付けた

五、其の他内理をは

を習所せざることとしたられたのだが、朝鮮に於ては之

には政府が保険資社で対して一て保険金を支援び切れないと言く保険金を支援が切れないと言い

質質記数を期する に概案条項の

九二八二

熊決につとる輸送の

尚属一の事態が競生した場合

務課長會議 南鮮各道勞

南原各道勢? 務課長賣識

他主要現場機關を在案、積極果實行館、原展數道影響所、學說局其

程文人组织物 (電位)

接生置管理も結局が形ならざるを 欧正したに止びる場合は工場の直

別の生蔵質任完遂坂と現下均蔵の 朝鮮有煙炭社長ほか出席、各炭坑

相俟つて歐頸、軽金崎、造趾機械

【東京福話】繊維原料の不圓滑化 繊維企業の再編強化

朝織協會理事會 開催、十八年度決算並に事業が協會は廿七日午後二時半理素

點に付て伏火災保險契約を組ば

あり) 一週に所定の事項を記載しま込い。

お點も従來通りである

て脳語上半巻五時半終了した

度決層語音承配ならびに非常増置
五十一回定時間會を開き、十八年
五十一回定時間會を開き、十八年

朝金聯總會 朝金聯四五

京城交通局

いる際に領地から注意がある皆

質性に通道されてあるので此の

尼朝鮮機格が指定し既に保險

器性統制の一元化

せ一日午後顧問、理事、許認真官を開催 この程制く配策姿を応案したので

は、一つたのも出席各民よりも種々繋心」は、 このでは、 こ

申し合きて年後七限する数額した かに小城の音に欧領することを

來のそれに類似した瞭盟的膨繁を せんとする接段プロツクが単に従

計画の内士一国は蝦銀保険料

に付十鐘の捌合で計算したる額路保険契約の保険期間第7の時

に相當する保険料を返還するこ

採出すものと見られる

動勢生活の確立整積低的環境にも

いあり、査察師に登

十八萬三子園であつた、主なの正 千九百九十七箇、價額四千四百五 千九百九十七箇、價額四千四百五

女 愛性

ક

臍求に依つて四月廿五日以谷宮

なる労務接近事業とよらず、一定中央順に道を中心とし、幕繁は草 近く成案を得る、投票官の組織は一

これは行政

在黎制度に

破ふもので

の選金を設けて動労職歳の昂揚、なる労務援破事堂に止らず、一定

世一百千前十時から感覚所と、一百七月のの企場が他に続して整備の原を加する石炭を認識があれ、一百七月第のものできっか、これ

電子り高宮電芸、原田 陽高

側短柄問題につ 破網唇に欧策す

個保を要する國家出更論であるが 職が現下の決成段階とおいては遠

力の均頭、その他國民保健所上と 確保、軍場否確物の充足、物資総差 料、飼料の原開在公員留かの四 を明るため側斜の際路を打開する にあるととを認めて、同質内に肥 も好典する表書、家邸の維持時間 消に伴って器と領大する国用馬の 一產增戰決屬金輕

究の上新策を樹て、斯うした措

ことくし、二月下旬配委員會を記 樹立してこれを燃悟所に献策する 間之輕金屬英級增商期

し、右一間既に対する根本勤策を

機などの側切的地震に突進して ミニウム、マグネシウム、明化物 相歡迎晚餐會話」並治 外相、大東亞「震館 問としアルミナ、アル

英な階級するとは航空機の最東増一である

ピッチコークス及び陰極の六品目

戰時特殊損害保險法廿五日施行

無保険」制度を實施して來たので

を表しています。 大兵、四本海道大賞、西道新島及 村田大邱、本間 中略、その他外 が、大島に関する。西道新島及 石波線相、岡郎女相、天孫簡報局 明ら取光外相、青木大東亜科、 際の松辺時発育を開催した園園よ 戦保は火保に附帶

重要物件に加入命令

とくし世一日これが施行規則其の 法。を四月廿五日より施行するこ 公布を見た | 殿時 特殊 担源保険 あるが、今回内地に順應し石の版 響を増補する所图「物に對する職」

物件の場合)をも併せて捕込ま

頼卅四と假定すれば、同時に破壊する普通の保険料が例へば年

痕別中央放送局から日本國民に対 「東京短路」添京中の比國特派代 関ララー版世 一年後 により 盛南祖と九時語を散育した アキノ特派大使放送 令が成案を得たのでこれを公布し より関係でも内地同様廿五日より 四月廿五日より施行するがかった 公布施行に関する必要な則令、省

ねばならぬ値前であり、又地域外

財務局長談

物と村で四月廿五日以後新と火 増進された鮮内主要都市に在る一、自働付保 京城其の他

地域と指定された都市であっては

つき水田財務局長は廿一日次の如

ある

普通火災保険に加入した場合は自一き帳話を設表、主旨を説明した

ある。文化的とは政府の方針は

も同様であつて個人主題を

後間潜躍と簡見して、伸び行く比 東亜辺数船において大東亜 野點を買いてゐる、数質の即で

「東京電話」時派大便として來朝一 中の比別國際職長ペニグノ・エセ キノ氏は世 日午前十時から断

の思想を確立することが何より 響を徹底的と打破し、國家協先

Rの現狀を中心に大要次の如言歌 今回防日の印象について特に自

アキノ比國特派大使談

次補足すべき結果に到望しつゝ 本の完全勝利のためにあらゆる。また我々は継國一致、日

元勝に全面協力

場でを闘うで開催に自はされた。主査に石塚原氏、飼料は三をご出れ何なることがあっても同類の。は毎官民の帰版者を交換し単類は

置した、四部、同郷医園産委員に は軍官民の極吸着主要職し肥料は

七時より外相官邸に比國容體展節の外間、青木大東亜相は廿二日午後

って隣球な芸術覚の交換を行び、 レアキ人特価大個より容解的り終 席上宣光外相より挨拶、これに對 比した現時間下とは適合をぬので 配時特殊指揮原験法を一月十五日 政府は野八十四議所の協称を得て

獨軍の反撃作戰に畏怖

し細範に思すを置かものである

しいのないのでは、

外で施行規則及びこれに伴ふ取扱

加入命令を確することが出來るこ 要建筑等を指す普通物件その他と にある法人所有の廿四回以上の選 助付保として緊急保険にも加入せ

数する上陸が行はれる可能性多 しとなずものがある・

とも深くられる。一方リョンは一

※英はダルマチャ 海中からユーとなり、他方

五、米英雄とフ脳里がハンガーヤー不安である。また以外に続

(名) 原制が辿り動剤は依してはいてるるが、英側が成了前の(一種単に本格的上頭をやるだらう
な別式できたの作派を合うと表すられば、英側が減了前の()種単に本格的上頭をやるだらう

天候や最近の祭験作機の複様など

から見て先づそのほになるだら

源などころを吹くといる楽芸徒來 これは扱うにまつ比較的防備の言

が主として地中源方面一時ピシシ

リー、コルシカ、サルジニヤ方面 その理由は米英の接近の兵力移動 米英の有力的職家方面でもこの判

降がその判断の根据となってあ 具備してある。からいる現状の暗てあで神給にも疑問にも好味件を

は容易であること

Soc.

一帶のチトー政権下卅萬の反ド

公別られているのが全世のと

五、不力の影響け楽伽軍が四級

大兵の壊結を行ひつくめること

職をなてるる向が多いでうだ、 中立國の河東西門家のみならず、

イン、他方は前的の各世と際だし お、まこの方面は一方はスペ 水陽兩用版車の傾用に扱も傾利で その漢字が長田階に亘って知道で

となしてある、この部居の根據を

も可能性が多いやうである。これあり、かつ現代的な動きから見て

右の三跳が最近では接も有力で 数果的であること ヤから切除すことが作成し接も

するのではないかという不安もあ

收入は百七、八十回であり交出し

三、大工、左官器

いからしてもそのががか思して わけである。然しイタリヤ歌劇の

右の如きるくの不安が施されて

際が最も効果的な機関に大脈出助 るでイツ公里地にドイツが水気

状況如何も米英の頭柄の種をらう

第二戦線必至、多方面同時上陸か

然四郎で投近の市所を拾 **举土拥留中立网外**

右腕動戦を虚示戦策して悪管師のに小雌悪格を訪問、高官官異より **客語細説明した、こと対し小磯** 山澤南主在よりそれぞれ對策の内 演主在、秋島常然那軍は感替府· 日华前十一時高宮哲長、石塚、山 れに對する野路を設置し、石塚 民間の各位が現下軍駅なる肥料

で、大の一覧であると我に、順高の数 一次の一覧であると我に、順高の数 の大管にあり、まを肥料問題解

事故の未然防止 一次であるので、政府は の場所が管面必要の話 の場所が管面必要の話

喜

商に待つの低かはないのである。

ち九月末日辺の六ヶ月 観勝の最大條件である 一ある、よつて朝鮮でもこれに呼風 蒙して歴史政技をな **東京にある地上記を記** 路とその努力目標を聞いた「富貴 社は斯界の組成者に増高い成の資 し同期間を、総会議決職地産期間 ルと紹打つて全鮮的に大場商送助 一中四月五天

際は不是に入 るが、増配期間において特に質點、大理酷をなさればならないのであ

度は十八年度より数倍の輸金圏の となって一切の際間を党限増議に | る、私は昨年来京城で開催されたとなって一切の際間を党限増議に | る、私は昨年来京城で開催された 東暗頭に重點をおき、官民も一億 での北陽となる際金融の刷別的生 政府に於いても航空機の増盛に関 勢高で指導推測せられた結果、 磐高で指導推測せられた結果、 着 地であるので、最近高級に概念題の概念はとおかれても今回の場面ができた。「整念城中でに最も着した一申しても過ぎではない、この故に 臓に成態感激に堪へないのである 題においては特に機能限下、 製造工場が増加して恐つたのであ 合言閣下を初め、各位が非常なる 種々協議としたのであるが、学 致したいと得じてある

透進しつつある

響金雕地震について最も重要なる 役割をもつてある半層の資料は減 野金属生産に従事する人々の機能

に質且つ大であつて今回の増産期 にあつて陣頭指揮をとり、從際員 打つて一丸となり重役は日夜現場 何である資社首脳者、從際自会員にの最の最も重要である。生産責任の は増れて後日むの決意をもつて生

間の生産目標環成についてもその 商に位用する等級人能率を増進し

次第である 大質託を根ひ半島各位に一階の個

哲起と一段の領協力をお願いする 後指定相関内にある、独つて合 其の保険金額が一路圏でそれに 建の加く症状上りも指揮引き下げられたので両耳が回日必要約 されたうた時間と近代を誘致約 されたうた時間と近日必要約 される人りも入利であるので で両耳が回日が即と減約された地

入し居る向に 對する ものとして機綱されるのである版され、確契約は其の職得效な

採珀管保険法に払くもの

要数と完てをり位つて強

れてある

しては大陸一層画程度が嫌頼さ 百萬國、金融機關聯由分五個

関、地年七回、外班八個)を追

勞務援護會

関して買取物件に対する補償和 ので、回攻物件の個類を版大胆化 不足と四条不合理のため活躍な同

にようでは進めぬ方

ると共に物質基礎の膨動反映を

間から利頼を敵收せず消金部胁

鑛工局考慮中

性過ずべき間

日数に建設停止などにより仕事 は前者とはど同様であり、稼働 め、少しの管行も是を関せんと常 すべきで数するを本とす、動すべ 節せざれば法行はれず、此の がく述べてあるとを次の で信仰以前が良料たる

警察の官行自然に知る、悪行不啻 と心を付て土の宣行を見配す、 をは解の態にて限ら知らせ、親言 自じしてにらみ、豚に足らるる 事に心をつけて人の質行を見限す の事るらば姓を飲め、少なるをは 任四分の一様形と盛

松~セキスイー 神經療・ルイレキ

中間ヤキクラミン

以来学生 東京小石川西原町二プ三東京小石川西原町二プ三

財際法人の経験」が任を埋さたければならにと考

ついてはお豆に一生動命やらう。 を置し場合に連格は「監察格置」

朝鮮興農會で對策決定 高富強技どり開泰員資設立の主旨 支店長**、** 岡部三菱商惠京城支店 小寶里屬米術制刷

章王在石塔氏、網科開茶及員會主 松本的金組縣會長、四部林識開松本的金組縣會長、四部東拓選逐、 失鍋不二頭線耽髮、三井朝鮮遊 阪栗本原湖、住友金世、大阪金子 工局ではかくる 情報に対照し内地 工局ではかくる 情報に対照し内地 を告げてある内地依存品は今後船 に地場消費の助大により移入極塞 る自給自足艦制の確立を目途に大一 縄工ほか有力メーカー三葉者を誘 際の深化を強板されてある、縦

で記物助へ全面的に歌感し、重要 間に盛み十九年度・6条杯物動を 関に盛み十九年度・6条杯物動を 針で設計団を取割め中である 機能類の遠田調整の一元化と協論 計器に高度の機動性を附與する方 徹底した企業の再級成に辿られ、

日間を開いて開き開発した情報、「SI解的器の内容について訪問があ」生命の音を開立し計算生命を通力。生態労働の基礎をホチ石族の単語、初め、スフ、人間等の各語所で重 日本の以上、関き開発した情報、「SI解的器の内容について訪問があ」とあり音を開立し計算生命を通力。生態労働の基礎をホチ石族の単語、初め、スフ、人間等の各語所で重 機能統制的ではこれに対応して経 衛馬等を提案して企業の再織現化 関プロツクの結成現化、総布生蔵 の質能せんとするところの挑戦ブ を企圖してある。しかして統制質

一、付保命令 政府は國家生

四厘の負擔輕減

地方資金融通制度改正

いる時は戦争保険の目的をあ

對する 題正なりや否や、微緒原料並に関 會議で決定する、など同理項會の

の付保命令は審賞に駆する物で、此が出來ることになつてゐる。此

の伦陸山漁村の各種の際ならびと

の開選を図るため耕地整理組合で 【東京協話】大阪省では貨糧均益

原琥珀方ぞ頭局では現場の解路打

查察を實施

本総料會社(資本金三千萬回報込本総料會社(資本系統に関する日 化學工業では同社の機械を軍一化 本染料合併 野 隻

千八百七十五萬國)を吸収合品

中小的工業者に對する預金部資金

がとり去られたため平均四厘程度 どの信党の場合は經由機関の利頼 この結果各種関語中小師工際著な

の負債軽減となるが地方公共開催

買取物件の補償額引土

證券市場

整理商內 (世目) 溫

Wall.

京芝越新町十三 日東製築合名會社

りセトンは

遊休金屬品類回收指定商を整備

有相當前

庁僧格の不合理性を

おける脱路を補正

もに、技術的に飲養すべきほどれ いては周到の注意をなず等地誘策 を敗め、特に審政の未然防止につ また生産増殖については資材、 に付一年に三國五十錢であつた。 あり下げを刺行しいて一 戦争保険料の引下

一工場施設の全能力を競技するとと

企画と広範

末の頻宏部質金運用委員額に沿い

ご園が至四風の引下げを行みこと

生物基底を法す物節計班に極めて 企業務陥による利用難言設備と共

する一万職送、

の国連めがあり、全般的と小艇り 郷められ、場面は相々活況を呈し

簡便な瀑布

に遊休金は熱の回収は十九年度の

融通分についてはずでに去る

が一人一回の改正に不生度新規

急速動員を急務とされてゐるので

し近日中に国報告宗をりて指定す

大なる比重を占め、重脳産験への

分で比較的高率なものについては

制度の以正を行ふことくなり去月

を駆滅するとくもに地方資金融通 機運利等の引下げを行び利子直撤

ても創造との機能を考慮し触通法 たどに対する直接的

て右方針を決定、廿二日での内容

されてなられるのであって、軍器 間の目標達成には格別の御鑑力を 省としても出來るだけの組協力を 併したがら増産の必成とは先づ 間に関連して繋ぎるい 原料、機械、努力、繁盛等の間要 素が十分確保されねばならないが

海に従事する者のみならず國民各 今回の地画期間における年間の質 に懸金属増売期間を迎へるに皆り 層の協力を要するのである。こと これ等の確保にはひとり軽差偏級 四、現に戦争保險に加 中である 付ても其の料率の引下げを考慮

> 脚工製者などと對する銀行など 耕地整理組合、水利組合、産品の関係に関する喧麦食付の方法と

業の挑進策の一環として騒急度を

件って近休金崎頌の回収は重監直 成案を無いである、販局の推移に

加重されてあるが、代替品のと

劉一的方式採らず

め金銭回収を開化することくけ 航工局は回收の促進化をはかるを

ることになってある たは代替品の地質については関 いあまり知得し得ないので不要 のあまり知得し得ないので不要

門 急 性 胃 線管支カタ 保管支カタ

措置。四月廿四日迄に従る

的誘接職権の組織につき研究中で 能ひなからしむるため魔工局では あるが、これら重監験士に後継の一般落著の数は総々増加する見込で 工場殿山にだける動勢生活の普遍 比及之に對する國民動員の開化と

ンて劃一的で影響する場 ・ でから、 でかけ近を ・ であるので京原的近を ・ であるので京原的近を ・ であるので京原的近を ボの監督があるが、そ

究研學化理原元度發

腦溢血。危險

血壓にご注意・油断すれば

· 150

所

十日分十七四五十銭、常日分夫のて好評です。 有名機は百貨店に有品切の節は晩餐元へ窓吹削五十銭具作ハー気

自開の終しまってゐたため、高郷、戦するものの職態のできり歌劇、たり、その他のな跡がは、迎登品ところが帰りなものでなく、一般の「解疾、千八年八月十五日曜日)に「三国五十歳であったのだ」面と |励闘問題が表はその別項すると | 微視振気関数また関節形 | 歌音が作な関数を下限とつき一ケ昭和十七年四月値行さられた別形 | 国路を外別数が全計でした。 賦除 | 行にら着しくに勤され、征死は昭和 保御語言保健寺と題る路は、付保しそれぐに始されてゐる、右に 普通物件は原数金千國につき一ケ

を説明すれば大略左の通り、信所 他の終布を見たのである、今回施 死亡傷無保險)能度は治死消りで 間「人と対する風景」と 響

食費增嵩

に監路

用に充盛してある、この意思智味いを被服、限物、燃料等の遺成がを被服、限物、燃料等の遺伝の経過が、大幅六割を、占め、一

大側は主に開仕入費の始結によ用じ充儲してある、この意思質

敗胎の増加を示してあるが食糧

力増照に接触せしむべくがて生計 自由勞務者生計調查

動し攻入は大阪一日十五国力至 ある。1日八時間乃至十時間勞 ある。1日八時間乃至十時間勞 三間、鳥主及び皇母主に對する 交換器三割、自己収入四割の比 一、一般自由勞務者

間乃至十「時間の多物で一日四 ・主翼と届ける入者)は平均十時 ・主翼と届ける入者)は平均十時 (ロ)出來商辧の者は純然たる自 が収入は あるので、これらの姿勢治療を倒る逆値を期するとが困難な貨情に

全な方法で維持確保すると共に、 (1) 影筋の性質、生涯内容解を一部とは気をんがためと高するのですること (二)自由労働者統制労働を創設を施策が要請されてある 闘政力を完封するため次の如 し根氏必帰物質の特

となる、孤過をいく間せば十思報 変め、故に主黒に思いる

とになってある。保険料は同告加して生じた火災又は損傷に依る損し 『歴皇院後間時間四法』の前行と 朝鮮と於で昭和十七年四月以来 電保険が自動的に財物されるこ に戦争保険の契約を結ばなくて

変結果の果然は次の通りである

直談を調査中であったが、その説

ても、企業階級を続けて待機して 己所有のもの、馬里を削値する 最近の空間は書として登頭機関連 に同時に上陸を行権へとじてある り、更にこの納收の文出をみれ

質金なども個々で質問把握に困 る。家園その他に充留してゐるを占め、難りを副食数、被服、燃

(注) 派氏生行数を洗顔とせる公 数なる公言類を開き設け、これ が設守を頂すること (四) 必然新制機構造とおいて支 接対金中より一定額の

す、兄や祖せるのかや』▲智が心 により、より多くの悪を生ぬけ まい、響行意を加し回すると なく、割せんがために削するので がれることは自然ないが、行政末職の▲法は他らざるを以って来ぬ と共に黒を是正し近端し、明るく 正しく頭い生活を終成する心ので

通じと健康

に失敗すれば情然。不格的上配 能性があらう、そして右の前哨取 リシャ海岸に耐しても古ばれる可 ひたいか。その将へ方からすれば一佛國境のテルビニアンからツーロ の作成方針から別出した振宮に超 前哨機は更にダルマテヤドは、ギ ンにかけてのリョン酸が上層作版 い阿公米英語語は一日中世百世の 向けに行けれてあること、他に西 近ジプラルタルを消滅して地中将 などである、悠る報道によれば最 はこの方面に共がれるに述びない 同時上層が行はれるとしても主力 るわけだ、この場合が締名方面に この簡素は最近のソ戦軍の攻勢軍 重視してダルマチャ海岸上所脱 の…しかし一方ソ聯軍との連繋を をとるものも多い

月中には何らかの形で上層作成が は物でるか、少くこの場でれ

○一前記のスイス絵の抽削すると ころによると先づ前前機の形で ** ころによると先づ前前機の形で ** ころによると先づ前前機の形で ** 行はれると見て間接びなさるうな 形然である。とこので一個との方 の地脈をいなる ると思いれ

ラルタル問航空世岸止

自より解大師化合れた命

ながある。スイスのガペット・

・ロテンヌ紙は上限作品の苅日

中にして取得一層にリョン機に

上るといける。また前間の地中海

四、ソ、ヲ親韓條約などでようて有利なこと

その一例であって、決定的な瞬間

ク株式市場が第二配線の成行不安 抱くものが少くないやうだ、

てある、海岸の場に加へるに五、

六十四の兵力が一ケ所に**集**給すれ

右の場合に生べきり数の限力の

作版が始まればそこに向けて禁運

成功しても、東大な経済の場合、政は「かりに ることがは大に死る問題は 第一般線の関類

は和工、概念・助師用な行、概念
は和工、概念・助師用な行、概念
は和工、概念・助師用な行、概念
・助師用な行、概念・助師用な行、概念

古紀、各領ボロ製、間、ローブ、

を押するため明証職初が常は

勝力

大円と故郷地を回収してその

端保

職限が力と議院となる機能

食」の米英の動館が何であらう

今から明瞭に被消し付ることは

出述的くを持てことにした。世

で、何れも減私飛繍の至城町も載行政の表際潜派はその根頼は一つ 指滅者の資出である▲個和必加と 國物が力への主機の既が些かでも 際から辿らざるがための過失や、 が過速の方地区に、地方地の不手

の何れかの方面に待機し、上四

が力と意識するハルが成立してか何なる

まで傾用されずに秘密されてある

は地大氏などではなく、いゝ加速

そいでいの強権国の参照や

相類的地大及びルーズベルト、テーベーテルの政治力技気である。た 出してこれこそ米が開墾への終さらい。

間では単編への供給に勿論、可辺のした語彙単荷数はは影響、この

て三端場面に経過者の開送者が留 船を金融してもなほ不足し、加へ

民ががつもりと紹はれて初めてそ

說明書中越次第弦呈

こに対の一個の一個が開立し、「優別 減ら地する。既というり間 音羽侯の英靈

東條首相、船田採相、松平富相の

ら既時特殊指常保険法を管的する

内地に呼吸して朝鮮でも廿五日か

敗极極が気備したわけで、頭側的 した戦争死亡第一条保険法といもに の世間で昨年八月十五日から迂原

物の脱鍵とよる指法の関係保

ことになり、世日の国教がで

入してるた方が傾利である

人は勿職、指定地域外の者でも加 に加入させられる自動財保地域の

哲動をつづける原思、軍大事系統の撤<equation-block>と説ぐ事とい

近 S新統領用犬、京城(四頭) 近 S新統領用犬、京城(四頭)

を物では風楽の働きは

視してある。

の火災保険をつける者は膨低保険

はといって加入者は一部を受ける

物も多心していくわけである

があつて野町が損をした場合は 令にうて取扱公司は一大公園

> 早の動物をして光山、日 殿七三名が表三月世日か

らなくもあったから限は響い が人であったから戦争保険

超過保険の取扱

掛け金の低減、深点 保限路時指置形と思うてゐる路

で一杯に契約出来ることによって

原解火災のほか十七匹で全部の

の回数脱氧保険を収扱かのは

同祭とはい京明経済が直行城最近

概念利良一家の均額指収割し

の四萬五千頃が最高契約保険金で

歐法では時間五萬国の家なら九郎 都合のよいことは側の破保的時指 いることが出來る、更に加入治に

想送品として関語保険をつけるこ

解から設つを物、建つて深る物は

各一回男児園

花嫁さんを

待つ軍用犬

服用犬の何つげい希別語

に火災保険をつければ火災院検査が自分の住宅文は作問の時品など は京城府が指定地域となり、 に加入させられる、これが背局で

っしか保険金を交換はないことに 會社から時間に祖常する一周回つ

期生水粉局次長は地元の日報を終

、廿三日午後七時半殿別田で開城

出張中であつた國民総力朝鮮総盟

うなるかといふとその原は何方の

成づつの観事保険をつけたらど

簡牛次長歸城北炎、巡

ふってるからないはたい

うる

探談がの遺伝があった。この法律は言葉での体が事のために紹介を通り取り公布と東京院実育社会」なんとなれば背頭の大災院監督社

際の損害は保険金を支持つてくれ

ないからである

この限領保険制度が出ぶた結果

除く物ならどんな物でも保険をつ **新選、有國際、職員、開選、**

> 限定し、地震機能度もはない が明確では解内とあるものだがに の家とが品物があれば附保出來る 限に住んであてもマニラに自分

宛ら

ととした、但し飲外の物でも朝

指定地域外でも加入出來る

は一年製料で保険金子似につき くなり、家屋での他の動物など

内地と異る點内場は

けて火保、暫保と提出でるから

國五十億から較べると加入者の

保険料の指定があった、この法律

帝都へ悲しき凱旋

疲れもたのしい四路にすつかりが

【展長にて田中時級最後】逆死の一九敗に向び婚姻の御社に願づきし

半島の遺族感激の合掌

はれ入京第一夜空明かし至年展開

で思ひを動せた解図の社に今元昭

間に呼ぶるはで合語する

はし酸ながりを感げればあるま

次いで宮城に参入願は府を理職、

際に対する階級の窓へ方を一部し

世一日は午前九時から転げより相

帝域で服かに執行はいる、 招親

国とわざり職条の機峡酸る九段

いてけ四日から廿七日窓の四

の十二百十名 時間海田

郷に断ずられ事郷際 日朝天樂』が り緊要を終れば異び延旋低火は一 羽車本殿に参続すれば宮陽菅振の 病制に帰題する遺族語の間を順大 せ、動列を管に供職されつく道筋

に見た九段の杜

野の河に鈴木宮司姚建を新郷し琴 と連絡物度は不殿に向はる、御

現式と別約登二十七日活版様と執

即の遺族景酸過程午後三階から

があつて弦ど削りなく大祭を給 直轄の祭所院本町の時間音の版 【東京電話】館園神託明れの臨時

式次第決る

行されるが式次用は次の如く決定 大祭は九殿の陣域でニート三日の招

廿三日午後八時招頭式 廿四

腎招魂の

御儀

靖國神社臨時大祭

行し、鈴木宮司以下胂職器仕扱ら

神社祭李成時大祭は廿三日初祭 い。勝しい合用と三腹連へる時

「富土柱を顕立配る相塊のほど

間が明書師柳な供して説明を姿 強いて本版の他に移り鈴木宮司 終る、かくて牛役八時近く招

議三四一千的なの議員を同 音集合所において阻海威相なら 庭の風度的火神々しく貼せら

理)の説問を受け実際なアルバム

に続は心謝明の極花がはらくと

問

京新所 松園原新興長 (所長代) 成治底部隊は甘一日朝鮮蘇西阡東

S新理する機位は一種中肢が軽、螺旋の『X ボノ鹿』を吹吹 行道:今天内山を縦し淡々と咽を鳴わ、唇下山地郎上部屋内離正田山 | ひたる新聞い心せ中が前をする班 | 官号戦を出版・二電機師の縁続「電影を

間の信仰」の放送を行ふび名策 感では夫々宮風遊響を行ひ、官 感では夫々宮風遊響を行ひ、官 感で、東世、丁場、昭開 原本ないでは報情式を保 して天長所祭を執行するので図 行し必勝所願を行る、まを管國

壽ぎ奉る天長節

國民素祝の時間は午前九時

秀な山間を歌仰し着ると共に国、時を押し「國民華殿の時間」と 民は振物の蝋燭を潮ざ、場大州い、大阪繁独命では毎日午前九 **電景の民意と権し、必勝の信、決め、ラジオは同時別、図目第** 【東京歌語】大災施限望下に三一窓でもつて順米英な開催するの (る天芸師にわれ等一個医 洗証を一層向めなければならな 大阪宗統の決定を一般们めよう 民はさるべく強語所願を行ひ、

育芸館を出設、二軍機前の経路 問いれたのち香月曜に引起され宿一 能など心能しの記念品の数々を一 に親切に切手まで派へた解釋者、

東京復居」現を築りでは解図神 御苑を拜観 の年後はそれぐ、経際、上野

※第m·Compre 6入都帝隊部族遺の島半

非常に安い保険料

所ならびに新智制地の影響を若出

遺版四十名が各班に別れて類類、サー日から

の歌劇は廿一日午後三段半かぶた一切見名の別れるなる御歌歌あり、の歌劇は廿一日午後三段半かぶた一歩所と「先」を新申より、御父名の別れるなる御歌歌あり、 職、御造版は東京都民の心からな る影館のうちに形態はく聴える中 を自動車にて自金台町の縁しざ宮 ついで終于夫人その他憲法者も律 塞、故伏见问炎伯杰二人定字破 木户内时、粉型层夹破、大粒子夹 片一片と扱り注く中を解々と れた、かくて英東は衛下衛幣の祭 た細音なの通り取内には対象の 理解があり、同六時十分英原は同 れたが改体的が個出征の際取内の 要原則人しき御道家は脳から飾ら 一個を聞いてる様にといい姓え 順に安成中上げ在しましく日の細

李明公妃各屋下万相ついで観印 る。同八時谷子夫人なはじい近 レン日を偲ばせて起し込の涙をそ

原見はに無官の影磁を含れた、脚

路別後間終于夫人をはじめ帰り

三漢大尉が領遺骸を夫々発持して

の個同期生活質大脈が組造形を、

数縁放岩の領頭複雑しめやかに続 行はれ、夏姫のうちに第一

一篇初

上頭を加へて訂九頭のこれ

入れして容だ、從深めつた

という



亦

لح

萬

圓

職御墓士を建受し御殊遇に感泣し

ら世一日ひら

徵兵後援事業部

大祭に参加の渤族に胸る喧声電名

靖國繪卷完成

本営御穀邸の大元帥陛下』『晏陛下伊勢の神宮に御親拜』『大

省および情報局の協力のもとに官 も廿四日から廿九日言で屋流篁原

出征第十乙参る、大日本総賞報

を全國の関節から自分の頻度の 率化をする『女子青年階間り』

ながらもしつかと極った銃の手先はうちほへんばかりに資赤な皿 を保護色に武陵して遙か向うの空を聴むは太平洋が黒霞か、温摩

◆… 審の丘に伏した中よしのヨイコドモたら ― 総池に歌圏の花

て勇士に持る、日本情般協會で一印此大助で厳障に到り行うと

身を原記してゐるが、この順階

慰奉告祭は廿日午前九時から

(原) 半岛人文宣在動加密

世界の変形を

加俸感謝秦告祭

「東京龍路」軍人保護院では今年

年間などは工場、四村時に勤勢

傷痍軍人、造族

「動を展開するとになった、期間中

の主なる催しは次の消りである

は庶間隊を縁成して北渡道、東に庶間隊を縁成して北渡道、東海、野央、九州の路域区人僚疾所大ケ所を激励協問する。悉能文化際盟でも原間時する。

る、通信機関結構のため採用検

戦の国々と

科病性·科内

品質金 (音麗之郎) 第170078 第170078

照 元第

地師関長からそれぞれ通道

に感謝運動

関で強へてるた、敵いて撃士夫 取じ行刑することくなり、度ら

智が、そめ、御言いるまと笑 関に超いた、そこでは場らしく 等温泉といる年間の第一印象は ある こくで死鮮の挨拶があつたの らうか、実外には膨携な ち選しぐ開選する半島の成力 高語学 合何が 語られたで あ

で、激行のするめによりそのまる官・

矣

一族さられ歌風、鈴木宮司配削を奏

調本委員長の玉串霽り、夢明

職し、鈴木宮司御祖を閉ざ、御饗膳食の荘園、玉黒峯双があって旅

を無れて招頭の能は滞けなく終了

髪ない、解がなる官邸で たれたもの人如く喧らにボンと

である「風景器にで山下在薬師 類の一助にもと機督に申出たの 四回を投げ出しこれをその選

と小院被替夫妻



勞務者の厚生施設 應ぜぬ者へは断乎强權を發動

型融合れるビモリ、内地と質する 用等の事態に認め張大酸素を確立 るのみならず、民間型質量素原理の関係になって制度の影響を重しまった。 いっぱい であって、 製造師とされて連続する場合であった。 はいい であって、 製造師とこれで連続する場合であった。 これませいと変い 観察を重える戦工物電量が図りません。 殿と海する際米の忍(方々一部)」「際と舞しと異して観点分力を東欧、野村的能力の独立に対し、医学が一工事、最上の野生所設、災害防止 監察への影響の吸水、野島質 施師とより(一)合後機能で行る 他力の動員、急速と競展する風 なってある。右に関し間唇所では

らしめることが影響信用の問題と、主意機の観光的人、中やしくも人し網工用版への國国問題を窓見な一様の国際起勢影響などの述びにま

間としての情報者の扱いにかやう。関してある 場と助員されたので目下熟集中の 【東京花暦】陸軍では今回風徒劇 報で皆示、要願期日その他在諸虚 風のため多数の技能関係選手が工 移動先でも受檢出來る 陸重技術変託生候補生に使宜 吹して、いやしても形式に流れた 一知半解の指揮を続きべるやう思

、これを接近する、これら物的観路「荷生語観光に変越上の重量者のへの影響を行う上紙に接続者の扱う。ることだって、参加光で影響し得いなっては小線鏡鏡の前間「大幅の「あそう時間を取けた筒柱」目前は 置技術地に民生徒および世紀候 日一世日本で人間所の歴史の 檢査の期日、場所

第記試験(委託生)五月廿四日 定めたる所によるQ型力彩作!

第上4個とも最し難い場合は別と

方針である、重材質の問題とつい

には極力解決に努力するが、施設

動田V企業者間の日報とし次

闘学として行政的強力を疑問する 治しこれに関せざるが如き場合は

自迄技術候補生志願者は六月十のは委託生徒志願者は五月十五 「飼料、蘇麻、阴原州、油州図

た文別にあつては音形即陸軍

蔵北が百萬風物質を突破し百四十 会社は法律とようて保険料をわ のつもりで用込んでも火災保険

(1975年 1975年 197 せっし重大に対する一般の部域を 機の名との関係国司会体ならびに 本性を機のより五五日午後六成年 から所長前で「蜀用六の名」を他

一、公司 家の 睦み

日東京平局人会領別・西人衆に 事中に間投から注意之前語が組らて乗れた人会領別・西人衆に 事中に間投から注意之前語が組め 半島人合宿の増産淮軍諸 中に加技が合在党の間の関ロ **光山と同じ物を向へ** る際国と同じ教習が政 対れその父兄に他問と歌歌を行う
 だが、頭心吐き日本前中秋茗前郷
 たが、頭心吐き日本前中秋茗前郷
 て左の孫氏のが守宅をが開催職
 へみが河水火着前回四ミノミ、 四日銀町(年央大部) ▲田山図 三辰純三 元、高山射苗(普成 第一) ▲ 山東區下往十重町六八 平一) ▲ 山東區下往十重町六八 九月一日新して龍一門行は 1年別









今度「寒徒動員の歌」と「女子遊 物は買い、軍振省ではこれら若人 強をはかる恩徒と女子挺身隊の任

朝鮮總督小磯國昭閣下講述

時を運営の時間とし暇ずあれ

な際員に収つては発展は父であり至れり繋せりの指導に内地に馴れ は銀長の低階設と士頭を設飾され

女中さんは母であり、先出は兄で

臣道實践

の士類を選しい歌で誘拐しようと

| (係八十氏)| に関い関節

対し少しでも多くの休差を眺へね 窓では 休む間もなく 酸くものに

氏作曲 『女子 挺身段』 行き入坑を見るどけて髪に陥へると歌は野村俊夫氏作詞 | 察長は、濃原所に、啖食を引発して

行言人坑を見とどけて製に陥へる

「東京電話」「単編生産の飛騰的増

艺

子挺身隊の歌推薦

| 会議部 人間々の国際 | ミさんが三人の女中さんが話り出る日報音響に近 | 巻ります』と接続すると、楽田ナ

ミさん外三人の女中さんが語り出

て「御安全」と、際貨を見なる

く黒髪 』の一時を一門削に紫光器舎に向って「行って

學徒動員の歌と女

なことがあっては流理上由々しさ 経験を要することであるからこを 官順に対しては副的管理等多年の 問題であるので、切かる著は徹底 たと取締る方針である。 また相方 隣領生六月廿日▲衛門の 周(秀託生)六月五日

りかい者は恋願格提出先の身間被変の場合は受験的を

京城日即

器型 社

ベタの大用軍 ベタの大用軍 ベ射で輸送の開発で ・ 「中国では、 ・ 「中国では

御申込み本計普及所、又は書店へ

検査の出頭通知

んと振り切ってるます

征でたつ開始だちが個々風感をかりたて人皆さまのあとにつづか

郷後では国人援護帰國漢間を控へて、やがては少年長として

な勝地、これは、関ふ日本の治理であり、関距の、確な ◆…前線の民族さん、ふて下るいこの競技しい要を

受検地變更の手續 更しない者は身際検査場で係官 は処力考査の場合は受検地を極

答しう」

で企業地

に労働の

近常を

把留し、蒙古の解験等でも十分 収

月十日迄、身髄検査を済ませて一五日迄、技術候補生心顕著は五

間のみを移動先で受験したるも 半島の市賊者職職にのせて前級の 悠々割當を突破

一百機献納に競ふ半島

の赤誠

国型がに続かい言が図ではその細胞に打っ、懸えと前域へ隔出しての名とを世大の電流地としての年の名とを世大の電流地としての年期の景像は大きい、一部国軍用が関いているといい。「国際で加でいるといい。「国際で加でいるといい。「国際で加でいるという。」

る火花を取らせてあるが、廿日に 廿九日を控へ最後の敗闘に猛烈な 唱して展開中の二百級飛行機散約 は全南が側當百七十萬を突破した

を終へ、愛願の主観を火とパえと 盟にとがけた、かくて具下弦響中 と高八千三百五十五國、廿二日己 歳 南 れも開留を突破した好成態で収納 の京戦、財門、武巡三道を随して何 八鷹平四百七十五個をそれぐい くせてある。なほ歌が冠了の道を

に組用が削機の質点があるはず 無調・朝鮮軍司令部からの翻波域 國民総プ際的端耳洛尻総長はさき 政策線四郎兵の権机の家を親しく 韓聯盟總長 學兵の家訪問

一日 午前五時卅分死去致候間 此儀豫仰病氣寮器中の處 斃行効無 助雄郎

御厚寵を 拜謝し此段御通知に自午前六時三十分 死去致修門

駿毛製品製造業者へ タイピスト 募集

仁川製作所

さる。女中さんが一人でも木むと 安吉を裏端って寝程で読れる。 郷 で間と添けられたな順『眼・鬼間

されてある

を表している。 の機能により、 の性により、 の性になり、 の性にな

右中込にはり創立進度は極層其他は追て傾道知す 朝鮮骏毛加工組合

會吐渡邊戰工所、北島與作株式會的合併二付異議申述公告

いも食料の時所必る軍犬を飼ひま

朝鮮機型工業株式會計半島製作株式會計会名會社渡邊鐵工師

社社所

時四十分遂に永遠の発生

2月二十三年後0時教育紀立て6枚音長6段伊連知申上候 日本基督教團若草町教育

徒を助賞する如く計器を樹立すること 業場に於ける作業は學校文は學

とを植るる野窓間に開催すること
| 廿二日午後七時から新る館で帰田|

で王昭智禄事、藤州仁川署長その を駆け不徳行為をなす徒報は願乎

し、輸発陣職化のための循役その

置の一途を辿りついあるが一部

家庭用基準は税額等級

大性に解及加重された。最近本

他官民多數參別裡に結成式を照行

催、米英雄減と猟勢地蔵を驚い問 城東署長以下院場際員數百名出品

開き、今年度の豫質を審職、した

京城町にかける石殿類の開給方法

配給到象は家庭用、

では廿一日午後二時から理事命を

理事長常會、山川府勝盟

獨身緊緊官の生活合理化を目ざし

獨身警官に宿舍

家庭用、業務用の三種で配給基準

別税太等未満は一

沸る献金熱

飛機献納へ

く國民歌歌記運動挺身大雷を閉

事せしめ文は慇椤の梭地核舎を、
物内に於て原徒をして生産に従

職じ若くは材料を供給せしめ學

感栓生徒の動詞は土地の状況跡

勞需給の狀況を勘案し食泥浴薩

(五)風從の防空、防衛等の非常数音練成との関整を闘る

み随き家部長はこれが悲劇の一例

我々は一人で克く宿敵の十人で 既後摩陣の基礎をる國民間位の

横行してある現状に監 なほ時代変れの原法が 充質を闘つて來たが今

(五) 駆徒の動気に脳隙し耳幹部 ては各種の風役時に女子の風役

の見地から醫療機關の

かからぬやう注意されたいと次の

がく點つた

道密察部では國民保健、國路する一方、一般間でもこれに

威に消滅である

…一般は引掛らぬ注意が肝要

要員、技術員科學研究製造たる を主流として之が具體化を励る

設事業又は工場、事業場

(輸送を含む)等の作業に助資

層整備し之が演練を罷化質施す

人獲職職職測別に呼吸して前歇盟 聖戦完遂を祈念

- 本運動の主旨徹底を期するため

。一枝ぐら**ゐ、は米英根性** だわり 場子『山の根木を折って持いているととに関うと、一つでいるとには関うな。であったが道路心があるとののに、一片でもあれば、あのいちっといかがあるという。

來遊開中であつたが廿三日午前十 了八年度入荷計速遊街広世一四<u>一</u> 退内に形ける絹の最需要他三月の一に對して一萬九千六百八十二棚で 節約せよ薪炭 道の入荷數量更に削減

州を通じけ列夷六子二百八十勝の一三一名の入荷欧沼である州を通じけ列夷六子二百八十勝の一三一名の入荷欧沼である 研で管外四一%管内八七%の點で 日纓に對して「五萬四千百四十七日纓に對して「五萬四千百四十七 五百八棚であつたが年度末の人 城は二萬一千四百五十六棚に顕し 型すなかて 素が枝を 我もの 酸に ふり の大きな枝を 我もの 酸に ふり 将兵の秀善に願へると共にわれら、決戦場に動脈死闘する职主日本の 日本へ捧ぐ華僑の汗 仁川で勤勞奉仕隊を結成よく、皇人のデ

を圖ではないわ、奈を添んだ

電子 国際よってんなこと、

園子 『もつとよく落着いて

手折つて荒すな・花見にも道義 花をお家に指けて同處が美し デリケートの 気持はないん あなたには一輪の花を手折る いのでせる」 星子「盗んだなんて失魔ね すべきだわり いの際断然消算

戦力は女の

手化

若し質剤め、質漁り、

大東亜歌争ほど一の瞬間に嵌ても血と肝の戦心を避 人の協力を必要と国里わが身を死地に投じて馴みな 色々の場面に帰一けつくある、かやうに彼等が懸軍

育が疎かにされてあるのではな

も、一人の不能な女性を出しても

省中部管理 注周李5岁

れやうか、一人の不良見を出して つある、その様、その姿がどうし

選家族に對しては生活度情に聴

増産に起て銃後婦人

的部長が参列して販かに執り行ふっては左記の表項を行び道際員の軍

軍接調間に道際の實践事項 になった 北舞鵑青年隊の 總職起挺身大會

國民観歌記運動の一級を扱って府一

東語樂士建設のため背烈を極める一十億の散米など最後の止めを則る

すんばやまぬと起ち上つた仁川部

傷は動勢電土隊を組織すべく生骸一千坪十六家が営てられ四十名を収 時から府内彌生町墓橋小殿校々庭一一切は内藤米一氏が無償等仕す

高橋軍職氏の好意による一階建五 容して五月一日から開所する、賄 て京城本町署では府内中區新町み 以上九等まで一人につき一 世帯でつき一回一箇、戸別程式

第以上一人につき一回一番(一 た場合は切捨てる) 戸別税廿二 多) 戸別税士等以上十一等まで 人につき一回一個年(但し)

三人まで一世得三箇、四人から身者一回につき一個、二人から 五人まで四節、六人から七 **公上面、** 局程等 路二人六八艘男子鄉師門人十四

路四人四九種美羅歌剧別 一三五加藤一男▲四百卅一四郷前田喜久子▲二百岡郷井町二ノ ▲三百五十二國劇州繁元座▲二 百個諸金町三ノ三四四姫野騒撃 壁声野町ノニーモ売農が第四

生への世行記書記、東五十四郎 防敵金にと廿二日鎮路署に寄せた 第卅四回の卒業式を終へた鴻明高 の独立中山岡、在後生から公園 この金額は今回の卒業生育七名が 女では金四百八十四回を混卸の図 卒業記念に献金 各地生産成士への慰安の崩物、日 鮮聯盟、朝鮮労務協憲共能の下に 既力均頭に放闘する生産成士たち を加へるため本行情緊急的感、朝神的協

常確定例日が贈る、愛園班常 質は月次計器場項等の近施に 變る常會日 職士をちを被問してある **第二十万は廿日夜小林殿部所の歌** 士を慰め、廿一日は仁川祖元成、 本移動演劇報間所配であるがね 現便はがきは一人皆り五枚--紙剣 人當り五枚 はがきは一 大量買求に制限 つた。従って加太郎を原御するこ アメ院の植霊御定にかかつたこと である。そのために、切角の遮蔽 種語に測定してしまったからであ には、目間所見などの如く、変色

料百個の合計である

窓口並に街の切手が夜捌所においるの場の来めには棚せぬことになりが 止するため減信局の方式に基金に出れたはがき、切手機の死機を防 川局では従來答與返し、韓居の際 る版画を一人間り一回五枚音点起 耐代りなどに要するはがきの大 たる波団子の整備には打扮つこと の加太郎歌御力も、加太郎の歌人 たのである。 明常と敗良とを加べる必要があつ一趣間に表むしき母の梅間り には、悪に一殴も一殴も無強用に れをこの場合効果あらしめるため 能も、途に用をなすに至らず、こ そのやうに執拗を求るアメが唯

郷み、月の朝日に行ふを便宜

するので京城府では五月か

仁川白婦の理事會 健胃·健民强矢

帝に 斑身することとなり、 家庭婦 郷止され婦人がこれに得ることに

堂へ入って見たが、まつまつとーから消費を形分にし食器の扱ひ

ことも内外継続の残しく認めると 酸の生理的限較性が世界に耐える

第二 会議経営のとまたもの 東京 から間へ得るそうと日 東京 から間へ得るそうと日 で、 一般を派が必要です に、 一の が悪に派りま

出が止まることもありますから、 乳兒でも、突然の脳膜で、母乳の

問、古ラジオを眠らせておく

末日と それ

のは勿憺ないから成分法を知ら

それに

嫌へて

粉乳の
用意を
しませ

ころであるといる。而も今や欧米

ところである。またわが國民の心 く、数米國の心理原治の総明する

すし屋さんが

戦励した、

雑炊食

の此は不潔な感じを

呼べやすい

いる所だ、味もそんなに扱くは

等も貧繁衛生の範を示してもら

なつた、多くの若い婦人が重要生

製筒が異求されるわけである 多くの職場に於て男子の就等が

かに婦人に對 ない、それだ

わが表が、わが慰達が組励をしつ

といふ意志を見て思想版、經済版 求される、島國女性の終てが必勝 と、何にもまして頭い意思とが要 民の生活が不自由になればなるほ それは島國女性共同の恥辱である

ラが質に母のそして妻の意志であ

ることを思ふとき、私は金剛不勝

お一個個民の知能水心が世界

一面図内配級に於て、わが母が、

と一般強

不敗の心樹へを堅持してあること かりと識り間め、思想、經濟職に

にこそ銃を将たざる婦人の主要な を確信してあるからである、ころ

鮮の若人が書をならべて進軍しつ

は、わが國の心理感者はかりでなっ の諸大民族中最優位を占めること に立向でならば、勝利は必ず深る の信念即ち必ず勝ち扱いてみせる

を得ない(城大教授)天野利武)

冷い衣類も日光浴や乾布際擦でき

とんの中で部める程度にします。

です、といって赤ちゃんはのどか

かはき易いものですから、水分を

ら無月一日に飲施することと

たへを示ちゃんとは苦痛ではない

一 しっことを忘れてはなりません

(・) 漁場の喧噪をしませう一母

けません、せいぜい赤ちゃんのふ」に繋でせる、これも削燥水第なの

おむつや若物を火で温めるのはい

立かずに耐へるとしたら、どんな るとか、食事の時間を酸分のばし

てみるとか、かうしたことにも、

(3) 過めた衣類はやめませう!

赤ちやんも訓練

今やこの大東耶球般の理般に内

婦人が競ってゐるといっても

なかつた、成事の半

命が皇國永遠の生命につながるこ

の勝利の条光につながり、わが生 いのは、もとよりわが辛苦が皇國

と、婦人の高言如性と海経な倫理

すところの勝ち扱く武志を更に更

に帰倒にすることである、この図

手足の動かせるやうにしませう

野が苛烈の度を加へるほど、國

とを信するがためであるが、また

知域に真る事大な異境の問級に依

は地りない。在立としては竹籔(るやうに心術くべきであらう

民に雑語むべきものがありとすれ

に近て、蘇米英を配倒せるわが図

炊食意会那がこの数子かどうか、して、本常に困る人のたしにな

客は売んである。但し府内の難 を用す外類する以外の人は遊配されてい来の既が入ってあるので ひたいものだ。密の方でもごむ

東にほる質 瀬がわが手中に ある

せう=生後一ケ月位か一が鎖のので、吸はぬことがありま

う、ところが熱に初れに代ると味

ら舞日外に強れだし、

おくことも必要です す、そこで平常から多少ならして

が海岸で東部城市は、今こ

四は日本の場合の関する。

ところとなり、廿二百午後一時一 ためせ、百年前入時半無路電信別

除分に持つてをられる機械は供出

答物道の災い折隔ですから

せている。 (青葉町・金田)

すべきです、関係放送師留書及歌 へ持つて行けばすぐ買ひとつてく

> 一日來城、京城既思場で同志十名一郎がしようと京談を抱き三月間 大型洞企連帯(ことは際の瞬間で め同百勝所(振り)に吹って

ら池田支部長宅で理事的を開き 日帰安郎では廿六日午後一時年か 李康成氏母堂 语見論報

力えより

員採用

町、積盛町、内齊町、加獲町、 塩子町、塗井町、銀上町、 塩子町、塗土町、銀上町、 畑、玉二町、道上町、線上町、 瀬上町、線上町、 瀬上町、海上町、海上町、 田、百盛町、太地町、 花涧町、昭格町廿五日=唐珠町、町、竪窓町、戸刹町、三沼町、三沼町、三沼町、三沼町、三沼町、 /れの原法が行はれ、悪しきに 健康は無形の軍備 マツノ 加出の 廳除

四箇月

動員計畫成る

◆中感感校工業局校上の関連せる工業に動員すに動員すに動員すに動員す

CID生徒の動勢動員は間核影校

本とする欧組織により之を行ふ

東井町、 物陸町、 霊泥町、 臥龍 |

悪徳醫療を一

掃

同要減に基く配佐助員智施要

として本府及び本道に夫々思徒

四、接沙町、長場町、鳳凰町、

徒専門の勤労係を設め、事業場に母するため帰係工場、事業場に母

◇崩秀(一)歴徒動資計芸の樹

所日に取って変施することになっ

風路署では 零季 酒品を廿四、五の

進町、鋼路二丁目、中座町勝松 西 大 門一、二丁目、内癬町、滑

鍾路區の清掃日割

たが、その日

活用するの方途を購ずること 意料の翻型場、所能所等として

し且つ其の政治質医の完璧を期…特に座徒助員の巡營を國滑に

勢の概を媒ぐる如く併せ考慮す

都市に於ける中島校、商業學校

科の研察、風徒の年齢及び生別

化したる場合には概わ夫々省数を行ふ場合又は爆疫を軍需工場 即校生徒が特定工場で現場作業

工場文は関係工場に助員す

(四)風梭被舎の軍舗工場化に付(三)風梭総方隊の整開化を阿る

ですることでする。事業場の職場に配

状況と依り王場、那葉場をし

門に関じ概ね之を飛時上に於け

鍵を阻害するものあるやに聞く 至うては同節法的資格をもたね その一例を解げれば某所に於 るといふととまで思を致し合後

軍人家族の崇高な歌國の勢間…仁 父の死を祕む 闘ふ兄の意氣 軍務中の弟へ

府が石鹼類の新配給法を決定 をなす徒輩に對しては今後翻字 じて町質が代が特に考慮する 懲目下陪國軍人として軍務に遊身 星國軍人の一員として若き個を燃 川府内朱安町五四二六川盛夫恵は 兄栗一氏は弟にごれを知らすこと (国)がこの程間登曲で死去したが 総所を自出度く修了選続時れて入 は後期の疑びを與へることである ス勝レつス昨年十月朝鮮志願兵職

『一機でも多く飛行機を』と廿 日本町署を通じ陸海軍及び飛行機 8 兄にしてこの弟ありの感を深めて し関へず残酷をすませたが、この

献納資金として次の國防献金があ ▲一千六百八十二個十餘京城實 の関係は電子ー図に制造 の関係な影響なくこれが の変通 陽面を極て五里窟にな るが海上の近路、府内

目黒所長考案の生理波維酸地を被 さて、加太郎の生理液が他とり部 即にのべたとほり、それは大した 効果がなかつね。そこで加太郎の 但されることを防いだのであるが

ふことになつたのである。 病域を追放させるに関係なしとい これはアメ研が、加太郎が永く

くろがね隊

六十銭である

停め置いた期間に、加太郎の生理 波に関する特性を非常に洋細目つ 大窓牌的維持の行りをり 大窓牌的維持の行りをり 京成の粉焼製厂を花杏 海、州花田、秋云

MAN

もあり文脈御効果が大きかったの一様門を出て限わたりで のない人をちょりも連がに容易で
タブラの水田ラフリに暮の雁 確以とおそのかくりし<u>局かな</u> 屬於 五風 總

毛。はや、新

療

愛知鄉機構市四八町九十二

森下みや子

群の際大公に通り 乗り 温のこと 築派の古墳は美し湾芸閣が 御川無烈軍 配與 Œ.

輕金屬縣 元城宗 龍電



役歌手募集





が、いよいよー気がひ、的歌人舞響語の関子もよく、その影響員 レつつけてあることだけを記して Eligino o る。そして加太郎は、夢から層め 脳の力を隠逐してしまうたのであ の自負する唖然なる生理遊吸収技 深い盛と前りとが、途に彼女に最 の際が直路なる壁の力は、アメ所 後の勝利を満したのであった。そ

る病類が、すつかり元のやうに治は加太郎が膨んであたむの認物な 最後に、もう一つ目出たいこと とが、これによって證明されたわ 総称なる弱師力にはかなはないこ 器械もその態極においては人間の

戦略なく見える完全

京島八七番 歴 大二年記物士三年五合 大二年記物士三年五合 大二年記述五合

の整要を駆けてるる観野漁留子その整要を駆けてるる観野漁留子そ の人が、加太郎を快駆せしめたの一來たら、この衝突穿し会撃人同志 土でもなく況んや南部ナツ子領土 の階級によったわけでもなく、生 ないつた。またそれは、時別

即と渡りすとは自出たく結婚の式

例が北陽の緊密によって、加大

| 大日 高級機能なる場付は間 | 本では、近天の場合を示すなどが高い場合で

採用

皮屬 淡原 性病科 医学博士 金林皇煥 電光 ③1551

看談談

を壁げた。そして目下火星へ向つ

| でしまる日田(新田県町人科内院 | でしまる日田(新田県) 楽を思えば | でしまる日田(新田県) 楽を思えば | でしまる日田(新田県) | でしまる日田 (新田県) | でしまる日田 (日本) | であった。 | 日本日田 (日本) | であった。 | 日本日田 (日本) | 日本日 (日本) | 日本 (日本) |

務を了へて再びこの地球へ戻って

求大獎級



は特に志願して第10字面裏肌の 李無影作) 金 祭長於至急採用

京日俳響為沒雪海也 鄭玄雄(繪)

電水大四松野医花柳病專門











丁目電停前 2放射域













一、養格 (1)年令十六才以上刊十多記 (1) 國民思報的手段能 (1) 國民思報的手段能 (1) 國民思報的手段能 (1) 國民思報的手段 (1) 是以 (1) 是以

五、出願手續切 八三、勤務先 二十歳未満の類身者

川川県町一ノ四七三県一八月)

上採用

周與貴獨女學校生徒募集